



アンダーフィラー

JIS A 6916
下地調整塗材E

吹きやすさと肌 レベルアップしました!

JIS A 6916 合成樹脂エマルジョン系下地調整塗材 下地調整塗材E 合格品

内外部下地調整塗材

アンダーフィラーS

特長

1. シーラーとフィラーの機能を兼備していますから、シーラーは不要で塗装工程が短縮できます。
(但し防水形塗材を使用する場合には専用シーラーが必要です。)
2. 既調合水性タイプのため作業性がよく、更に速乾性です。
3. セメント系フィラーのようにアルカリ残留の心配がなく、エフロレッセンスの発生はありません。
4. 乾燥後、すぐに次の塗装工程に入れますので、セメント系フィラーに比べて工期の短縮が可能です。
5. 下地の目つぶし効果と吸い込み止め効果を備え、ALC、リシン面などは勿論、その他にも幅広い下地適応性があります。

内外部下地調整塗材(エアレス塗装用)

アンダーフィラーAL

特長

1. エアレススプレー塗装作業性に優れた下地調整塗材です。
2. シーラーとフィラーの機能を兼備していますから、シーラーは不要で塗装工程が短縮できます。
(但し防水形塗材を使用する場合には専用シーラーが必要です。)
3. 既調合水性タイプのため作業性がよく、更に速乾性です。
4. セメント系フィラーのようにアルカリ残留の心配がなく、エフロレッセンスの発生はありません。
5. 乾燥後、すぐに次の塗装工程に入れますので、セメント系フィラーに比べて工期の短縮が可能です。
6. 下地の吸い込み止め効果を備え、ALC、リシン面などは勿論、その他にも幅広い下地適応性があります。

標準施工仕様

工程		アンダーフィラーS		
施 工	下地の処理	①下地の粉化物はワイヤーブラシで取り除き、ごみ、ほこり、油脂類は洗剤、ブラシで清掃してください。 ②大きな打ち継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルや*シーリング材などで補修してください。		
	条件	吹付け	ローラー	はけ
	希釈剤	水道水	水道水	水道水
	希釈率	10~15%	4~8%	6~12%
	使用量(kg/m ²)	0.9~1.1	0.6~0.9	0.6~0.8
塗装工具	リシンガン・モルタルガン 口径4~5mm他	ウールローラー (中毛)	左官はけ 又はブラシ	
塗り重ね乾燥時間(23℃)		4時間以上		

*シーリング材は2成分系ウレタンシーリング材が適しています。

注) 使用量は標準的数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法などにより幅を生じて増減します。

注) 塗り替えの場合の下地処理は、旧塗膜を十分調査して、適切な下地調整及びシーラーの選択を行ってください。

標準施工仕様

工程		アンダーフィラーAL		
施 工	下地の処理	①下地の粉化物はワイヤーブラシで取り除き、ごみ、ほこり、油脂類は洗剤、ブラシで清掃してください。 ②大きな打ち継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルで補修してください。		
	条件	エアレススプレー	吹付け	ローラー・はけ
	希釈剤	水道水	水道水	水道水
	希釈率	8~10%	5~6%	0~2%
	使用量(kg/m ²)	0.6~0.8	0.6~0.8	0.5~0.7
塗装工具	*高粘度用 エアレス 塗装機	リシンガン 口径5mm	中毛ローラー 左官はけ	
塗り重ね乾燥時間(23℃)		3時間以上		

*一次圧力180kg/cm²以上、吐出量1.5ℓ/min以上(ワグナー3000SEタイタンチップB28又はC41が適しています。)

注) 使用量は標準的数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法などにより幅を生じて増減します。

注) 塗り替えの場合の下地処理は、旧塗膜を十分調査して、適切な下地調整及びシーラーの選択を行ってください。

適用下地

ALC板、PC板コンクリートブロック面、セメントモルタル、掻き落し面、コンクリート面、活膜リシン面の目つぶしなど

性能試験表

試験項目	規格	性能	
		ニッペアンダーフィラーS	ニッペアンダーフィラーAL
低温安定性	塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと	合格	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと	合格	合格
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれがないこと	合格	合格
付着強さ N/mm ² [kgf/cm ²]	標準養生	0.7 [7.1]以上	合格
	浸水性	0.5 [5.1]以上	合格
吸水量 (g)	2以下	合格	合格
仕上材が複数層仕上塗材の場合の耐久性 N/mm ² [kgf/cm ²]	割れ、膨れ及びはがれがなく、付着強さが0.5 [5.1]以上あること。	合格	合格

容量

20kg

色相

ホワイト・ライトクリーム・ダークグレー(目地用)※・ライトグレー(目地用)※
※アンダーフィラーSのみ ※目地用はJIS非該当となります。

使用上の注意事項

(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- 蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ALCパネルに塗装する場合は、平滑性と表面強度を保持するため、フィラー類での下地調整が必要です。
- 開缶後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 動物のけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなってください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製HI500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 開缶後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および、塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起すことがありますので、原則としてニッペ パーフェクトNBシールを離さないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、必要削り行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりに不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大面積の塗装では補修部が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差ができますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご利用ください。
- 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特に調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご利用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 開缶後は皮張りしがしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
- 大気中の浮遊鉄分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 (ニッペ アンダーフィラーS ホワイト/ニッペ アンダーフィラーAL ホワイト)

横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 吸入した場合、気分が悪い場合は医師に連絡してください。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 施設にて保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にはく露しないで行ってください。
- 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- 内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

注意喚起語	絵表示	危険有害性情報
非該当	非該当	非該当

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1900

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●© Copyright 2019 NIPPON PAINT CO.,LTD. All rights reserved.
●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-V129
TY191004T
2018年2月現在